



優秀キャラバン・メイトを 受賞しました！！

平成17年より、認知症になっても安心してご本人やご家族が地域で暮らせるように、認知症への理解を深め、地域でご本人やご家族の手助けをする「認知症サポーター」を養成する講座を全国で開催しています。

徳島県では講師として多くのサポーターを養成した「優秀キャラバン・メイト」の表彰と一定人数のサポーターを擁する事業所の登録を毎年実施しており、先日、徳島グランヴィリオホテルにて平成30年度「優秀キャラバン・メイト」表彰式及び「認知症サポーター養成協力事業所」登録証交付式が行われました。

今年度、基幹型地域包括支援センター（以下、当センター）では、市内の小・中学生の道徳等の授業の一環として、また、各地域において、認知症の方が道に迷ったときに適切な声かけができるよう訓練を行った際にも講座を実施してきました。

1年間地道に講座を開催してきた結果、当センターからは、年間に500名以上を養成した「シルバー」の称号を得た職員が1名、年間に200名以上養成をした「ブロンズ」の称号を得た職員が2名、それぞれ受賞しました。

2025年には発症者数が700万人（65歳以上の4人に1人）を超えると推計されており、認知症は誰もが当事者になりうる病気です。ひとりでも多くの方が正しく理解することで、みんなで支え合い、認知症になっても安心して暮らせる地域でありますよう、引き続き、講座を開催してまいります。各地域におかれましても、開催に向け、お気軽にご相談ください。



<受賞者全員と徳島県後藤田副知事との集合写真>